

金沢区民文化祭参加 金沢区小・中学校音楽祭



金沢区文化協会会報



金沢区文化協会

編集人 鈴木 稔

☎ 783-8760

発行人 星 翠 雲

☎ 781-2624

印刷 幸栄印刷(株)

☎ 716-3366



第6回金沢区小・中学校音楽祭が、平成18年12月10日、金沢公会堂で開催されました。

実況風に参加校を紹介しましょう。第1部は今回のテーマ「和」にぴったりの六浦小学校琴クラブからです。ハイビスカスの花を胸に「沖繩メドレー」等を演奏。小田小学校音楽クラブは「ペコリ・ナイト」など楽しい曲の後に、楽器をステイックに持ち替え「ソーラン節」の主題をリズムカルに打ち鳴らし、八景小学校鼓笛クラブは「お正月」や「土官候補生」を元気一杯に演奏しました。第2部の大道小学校特別合唱クラブは「三つのわらべうた」「ふるさと」「やさしい風」と可愛い澄んだ歌声を披露。初参加の横浜中学校・高等学校音楽部合唱「颯RYU」。

会場から登場した男声合唱の優しい歌声にうっとりするうちに、舞台には特大のダイヤモンドが。ルパン三世と仲間達が縦横無尽に駆け回り、客席は沸き返りました。歴史

のある金沢中学校木琴部は1・2年生が各々演奏し、最後に「八木節」で、すばらしいアンサンブルを聞かせてくれました。さてここで特別出演の和太鼓「鼓魂」の出番です。舞台前面には太鼓がずらりと並び、掛け声を合図に一齐に打ち鳴らし、体全体を使った勇壮な音は会場内に轟き渡りました。第3部は吹奏楽です。西柴として「ジャパグラXI・刑事ドラマテーマ集」で聞き覚えのある曲が次から次へと。金沢中学校吹奏楽部は、スーザの行進曲等と、又々聞き覚えのある人生楽ありや苦もあるさく。「ジャパグラX・時代劇絵巻」です。最後の横浜中学校・高等学校吹奏楽部は、「全力少年」などおなじみの曲の後、黄色の法被姿の同校の和太鼓「鼓魂」が加わり、平土間と舞台での「八木節」大合奏です。迫力満点の演奏に会場からあふれんばかりの観客は満足。盛況裏に幕を閉じました。

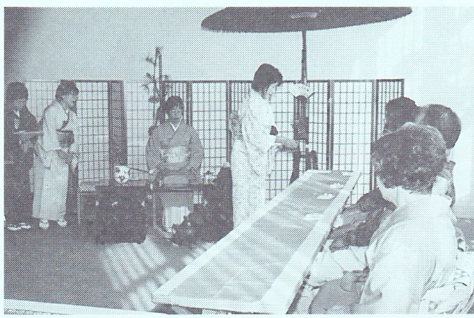
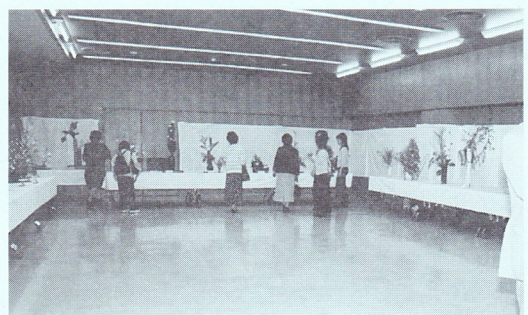


第18回 金沢区民文化祭

本年度の区民文化祭は、別掲の各部門とも予定の日に時に盛会の内に終了しました。各部会とも日頃の練習成果を発揮され、観衆も満足した様子でした。

主催者側にとって気になるのは入場者数です。全般に言えることは年々その数も増え、区民の中に浸透してきている様です、が文化祭そのものの存在を知らないという方も相当数おられるのも事実です。

また、文化祭の準備運営は金沢区文化協会を主体の区民による「金沢区民文化祭実行委員会」が実施しています。が、官から民への移管の過渡期で、金沢地区センター体育館での区民の作品



展と、金沢公会堂及び他教室を利用の文化祭参加の芸能・演奏・発表会等、総合運営について、予算面を含めた検討が必要との声も聞かれました。今後の会の運営発展を考えるに、別途収入源を含めた運営について再考し、ますますの発展に繋げて行きたいと思えます。

- 吟と舞の祭典
- 区民の作品展
- 児童アート教室
- 華道展
- お茶会
- 金沢区音楽のつどい
- 金沢三曲会定期演奏会
- 金沢区日本舞踊連盟公演
- 金沢区小・中学校音楽祭

第3回 金沢区絵画展を振り返って



〈会期…平成18年11月16日～22日
会場…能見台地区センター体育館〉

会場の問題から永らく頓挫したままの絵画展でしたが、能見台地区センターのご協力により、今回、開催することができました。出品数は、区内の絵画愛好家の方々から88点の多岐にわたるジャンルの出品があり、会期中の来場者は、延836人、前回は130人ほど上回りました。会場は採光もよく、広々とした会場でのゆったりとした展示は、出品された方、鑑賞にこられた方の双方にご満足いただけたことと思います。

今回、開催に至るまでの道のりは、決して平坦なものではありませんでしたが、多方面からのご協力、ご支援をいただき、金沢区唯一の総合絵画展を標榜するにふさわしい展覧会を開催することができました。

横濱金澤シティガイド協会の活躍



玉堂邸(二松庵)のガイド風景

金沢区制50周年を機に正式発足した横濱金澤シティガイド協会は、1年後に10周年を迎えます。現在95名の会員が“住んでよし、訪ねてよし”の街づくりの一端を担うべく日々活動を続けています。企画・協力・依頼による街歩きガイドや称名寺定点ガイドの他に、座学と街歩きを組み合わせた講座も担当しています(晴嵐かなざわ)。また、“駅から歩こう”というガイドマップや、金沢文庫駅から称名寺や能見堂への案内地図を作成し配布しています。

平成18年度は第8期養成講座を開講し、協会・会員の増強に努めています。平成19年度は更に活動を充実させ、多くの方々に金沢の魅力を広めていきます。

金沢区民フィルハーモニーオーケストラ 定期演奏会「フロログ」



文化の街「かなざわ」は、各種の文化活動はもろんですが、特に音楽活動が盛んな街です。その街に『金沢区民フィルハーモニーオーケストラ』

場前には長蛇の列が出来、開場後は立ち見の方々が出てしまうち中、モーツァルト作曲交響曲第36番「リンツ」他3曲を演奏しました。

ラ」が2006年7月1日発足し、同年11月26日には金沢公会堂にて区民に初披露となる演奏会を開催し好評を得ることが出来ました。当日の会

出演メンバーが初対面から5ヶ月足らずで開催した演奏会、題名の「フロログ」とは楽曲の序奏などを意味する言葉で、初回の演奏会を開催するに当たり、まさに「金沢区民フィル」幕開けの演奏会としての意味が込められています。これから金沢区に誇れる素晴らしいオーケストラを目指して地域に根差し一歩一歩成長して行きたいと思えます。

今年6月24日(日)金沢公会堂にて第1回定期演奏会を行います。曲目はベートーベンの「エグモント序曲」・「交響曲1番」とドヴォルザークの交響曲8番「イギリス」の3曲です。皆様お誘い合わせの上ご来場下さい。お待ちしております。

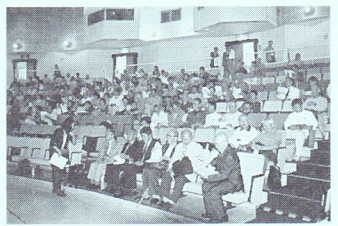
『金沢の歴史』 講演会



京浜急行・富岡駅近くにある『旧川合玉堂別邸』は、一昨年横浜市の所有となり、運営が地元町内会・文化団体等に移管されました。敷地が約二千坪、門と主屋が市指定文化財となっており、市民の要望に応じて毎月第1土曜日に開園して好評を博しております。

玉堂が画室として使ったこの別邸の存在と開園をご存じない方がまだまだ沢山いらっしゃいますので、そのPRも含めて楠山永雄先生に講演をお願いしました。当初は金沢地区センターで準備しましたが、応募者が80名に対して180名もありましたので、急拠金沢公会堂

『川合玉堂と金沢』



に変更しました。また青梅の『玉堂美術館』からは小澤館長がお見えになり、館長からは観客にご挨拶を頂きました。楠山先生の講演は、目で見る歴史講演会としてつとに有名で、90枚のスライドを駆使して、玉堂の生い立ち・京都での習学に始まり、特に『二松庵』の丘陵をたくみに生かして、自然と調和した雰囲気は、今も見る人の心を和ませてくれます。玉堂は本業の絵のみならず、余技としての俳句・短歌を2万首もつくられたとの紹介には、玉堂の人的奥深さを改めて認識させられました。

団体会員紹介

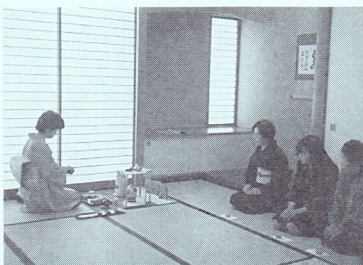
金沢区の文学と歴史愛好会



当会は昭和57年7月発足。本年3月に287回の例会を迎えます。入会金500円、年会費6千円、夫婦9千円、半期毎の分納可。現在新入会員募集中です。今後の予定。3月25日(日)森陽外・太宰治の墓参りと井の頭公園の花見。4月22日(日)大船観音・大船フラワーセンター。5月27日(日)藤沢北部。6月23日(日)武田信玄ゆかりの地へ宿泊例会。7月27日(日)三吉演芸場で観劇と納涼。8月26日(日)金沢文庫見学・講演会・例会ビデオ鑑賞会。9月23日(日)東京北の丸公園。10月28日(日)鎌倉。11月25日(日)向島百花園。12月16日(日)平和島で忘年会。

団体会員紹介

金沢煎茶道会

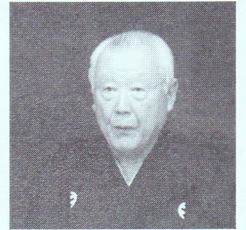


煎茶は文人茶とも云われ、中国から伝えられた煎茶趣味から生まれた茶道です。幕末から明治、大正にかけて非常に勢いで流行しました。明治の煎茶好事家としては、山内容堂(維新時大政奉還の先導者)、木戸松菊(明治の元勳、木戸孝允)が特に有名で、伊藤博文公も愛好家として知られております。野島の別邸に於いても文人墨客を招いて楽しんでおられたのではないのでしょうか。金沢煎茶道会も、このような文人の自由な茶の雰囲気の中で煎茶を楽しんでおります。六浦地区センターでは、お福茶、玉露、新茶、冷茶、ほうじ茶など季節毎のお点前を和やかに学んでいます。

文化協会行事 予定 (日程順)

Table of cultural association events with columns for date, location, event name, and contact info.

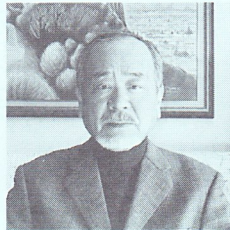
個人会員紹介



田中 秀朋

私は昭和3年山梨県塩山市に生まれた。昭和17年日本石油社船第二小倉丸に乗り組み、船員生活が始まる。戦時中は海軍艦艇の燃料補給と原油輸送に従事

中昭和19年9月バジール海峡にて米国潜水艦レットフィン号の雷撃により沈没などあり、戦後は復員輸送とベルシャ湾よりの原油輸送に、昭和37年横浜港のハーバータクに転職、昭和45年渡辺松霜先生に師事し能面修行を始める。昭和59年独立し能面教室面寿会を立ち上げ、毎年展示会を開く。平成元年3月船長職にて定年退職。能面師として活動、平成3年3月より釜利谷東在住。世流シテ方田辺竹生先生に師事、謡曲を始める。平成7年読売文化センター能面打講師就任。平成12年福井県池田町能面コンクールベスト50入選。平成15年横浜能楽堂主催『能・狂言面大賞2003』大賞受賞、など老骨に鞭打ち能面打ちも謡曲修行も限りなしに挑んでおります。



秦 龍一

私の生き甲斐となつてゐる絵画も、半世紀を経たらずい分と変わつて来た。若い頃のゴテゴテ油絵から、老いの気力の薄れにつれて水彩画に移り、この頃は益々色薄くなりつつある。創始以来の金沢区文化協会の絵画同好の人々と共に、一同集結の展覧会を過去3回開催する事が出来たが、サークル活動中心の小品80点程の小展覧会で終わっている。国内各会派の名簿にある実力ある区民の方々の参加が極めて少なく、又、高価な大作品等を展示保管する施設も無いために、出品希望者数に限界があるようだ。この活動は細々とでも続け、何時か花開く事を願っている。

金沢区俳句・短歌大会

「金沢俳句会」は昨年10月15日富岡八幡公園界隈にて吟行後、俳句大会を開催し、また、「金沢区民歌人会」は10月22日に金沢区民短歌大会を開催しました。それぞれ上位の作品を紹介します。

金沢区民俳句大会の作品

- List of haiku and senryu poems with authors' names like 木の実掌にあたたためて練る一行詩, 神の木の直く空占む鴉の声, etc.

金沢区民短歌大会の作品

- List of senryu poems with authors' names like 前をゆき後ろにつきて歩む子に托鉢僧は穏やかに笑む, 行きゆけど自分の影は踏めぬごといまだ果たせぬままの夢あり, etc.

賛助会員芳名簿 (五十音順)

Table of names of supporting members in alphabetical order.

編集後記

毎年3月春号は秋の区民文化祭行事報告で埋まる傾向ですが、新発足団体の活動ニュース、及び団体・個人会員紹介にも力点を置いて編集をしてみました。

集員 一之瀬炯次・氏家総子・後藤政也・編委 佐野史瑞子・白井俊一・鈴木 稔・野中健吾・森川淳子 (五十音順)